

1. 第 1 回問題作成（平成 24 年度）
2. 第 1 回問題精選（平成 24～25 年度）
3. 第 2 回問題作成（H25. 12. 28～H26. 1. 31）
 - ・問題作成マニュアルの改訂（平成 25 年度版 v2. 6）
 - ・予想正解率 60%→80%
 - ・登録案内（ID、パスワード）のトラブル
 - ・CBT 範囲外の出題可（→将来的に必要：保存しておく）
 - ・出題数 8143 題／登録者数 714 名（一人平均 11. 4 題）
3. 第 2 回問題精選（平成 25～26 年度）
 - 第 2 回問題精選作業（H26. 3. 10～6. 17）
 - ・50 科目（62 精選グループ G）（資料 1）
 - 2 G（A B）：解剖学、組織学、生理学、生化学、薬理学、実験動物学、毒性学、病理学、微生物学、動物感染症学、寄生虫病学、臨床繁殖学
 - ・精選委員 150 名：科目正副責任者 37 名、科目委員 2 名／科目（113 名）
 - ・問題精選マニュアルの整備・改訂（資料 2）
 - ・4 名審査（科目委員 2 名・科目副責任者・科目責任者）／科目
 - ・精選対象 100 題以下／G
 - ・採択 3038 題／4587 問題（採択率 66. 2%）：12. 2～94. 0%（100%）
4. 今後の課題
 - a. 問題作成
 - ・出題範囲以外の問題も作成を依頼した→出題範囲以外の問題作成を依頼しない
 - ・出題の偏り→偏りの把握（科目内、科目間）：5 題以上／一般目標を目標
→出題範囲を限定して新たな問題作成依頼（後期）
 - b. 問題精選
 - ・1 つの科目に精選グループは一つとする
 - ・積み残した問題の精選
→積み残し問題と偏り是正問題の精選作業（後期）
 - c. 出題候補問題
 - ・第 1 回の精選問題ではなく、第 2 回で精選した問題をトライアルに出題する
CBT 問題としてより相応しい問題：予想正解率 80%による難問の排除
 - d. アンケート結果の検証
 - ・システムの改善（マイナー）の必要性
 - ・1 科目 4 名精選体制 OK
 - ・1 委員 200 題まで？
 - e. 後継者の育成
5. 今後の予定（平成 26 年度）
 - 持続可能な問題作成・精選体制の確立
 - 積み残し問題の精選
 - 出題が少ない科目・一般目標への出題依頼（第 3 回問題作成）
 - トライアル試験を通した精選問題の検証